

No.220

2018年
10月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 10月26日(木)まで

★メイン展示

『Happy Halloween』

10月31日はハロウィン。それにちなんで、今月の展示は「**Happy Halloween** (ハッピー ハロウィン)」と題し、

- ・『ガイコツ』
- ・『ハロウィン』
- ・『月の魅力』

の3つのコーナーを設けました。
ぜひお立ち寄りください。



●メイン展示図書より(抜粋)

「モンスター・ホテルでハロウィン」

「ホネホネ絵本」・「骸骨考」

「月のリズムで暮らす本」

「月の満ちかけをながめよう」

★サブ展示

「貯蓄の日」

10月17日は貯蓄の日。
貯蓄はもちろん、家計・節約・保険・お金の考え方に関する本など、気になる“お金”に関する本を集めました。

●サブ展示図書(抜粋)

「金持ち父さん貧乏父さん」

「図解正しい家計術」

「お金が貯まる財布のひみつ」



読書講座のお知らせ

『読み聞かせ講座』

絵本の読み聞かせに興味のある方、ボランティアをしてみたい方…、いっしょに学んでみませんか？初めての方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

日 時：平成30年11月17日(土) 13時30分～15時

場 所：宿毛文教センター 2階 視聴覚室

講 師：秋本美津さん

参加費：無料

英語の絵本コーナー

英語の絵本は、Y洋書コーナーに置いていましたが、絵本コーナーの入り口に変更しました。(新刊は新着児童図書コーナーで、変更ありません。)

英語の絵本って興味はあるけど難しそう…、子どもと一緒に楽しめたらいいなと思っている方、CD付きの絵本もありますので、一度、手にとってみてください。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

どんな災害でもイヌといっしょ

徳田竜之介 監修
小学館クリエイティブ

いつやってくるか分からない地震・津波・豪雨などの天災。非常時、不安なのは人も動物も同じです。ペットも家族の一員。災害時にペットと一緒に避難する「同行避難」を原則にしていますが、広く浸透していなかったため家にペットを残してきた人が多かったそうです。

これからやってくる天災に備え、自分たちの身を守る準備と、大切な愛犬を守るためにまずはこのハンドブックを読んでみてください。

(岡村)

(一般)

はしからはしまで

みとや・お瑛仕入帖
梶よう子 著
新潮社

浅草の茅町で三十八文均一の店『みとや』を兄妹で営むお瑛は、兄・長太郎の予期せぬ急死により、ひとりで店を切り盛りすることに。悲しみの中、兄の仕入れた品物を見ていくと…。(『水晶のひかり』他5編) 兄の仕入帖をもとに職人たちを訪ね歩く中で、お瑛は知らなかった兄の人柄に触れていく。

江戸の人情味あふれる『みとや・仕入帖』シリーズ第三弾。人の優しさに心がほっこりする物語です。

(山口)

(児童)

ため池の外来生物がわかる本

加藤英明 文
徳間書店

農作業のために作られたものや公園内にあるものなど、昔から私たちの身近にあった“池”。

でもため池は一体どうやって作ったの？ 池の水を全部ぬく「かいぼり」はなぜ必要なの？

ため池の歴史からひもとき、かいぼりや身近な問題となっている外来生物まで、現在に至る実情を徹底解説!!

(檜田)

(児童)

ケイゾウさんの春・夏・秋・冬

市川宣子 さく／さとうあや え
講談社

ケイゾウさんは、にわとりです。

ケイゾウさんの家は、幼稚園の庭にあります。

春はこいのぼり、夏はプール、秋は落ち葉の山、冬は氷がきれいなケイゾウさんと、うさぎのみみこ、ゆうこ先生、ももこ先生、幼稚園の子どもたちとの四季折々の日常がユーモアいっぱい描かれています。

ケイゾウさんの、振り回されている感じが面白い一冊です。

(尾崎)

思い出Now「？」

松沢まり子

たまにはさくら随筆も真っ白な空白で、「？」だけのマークを真ん中に置いた白紙もアートではないかしらん？と試みている芸術の秋なう。Now。(今みんな、国家の大統領や芸能人や、ま、わたしなんかやってるTwitterでよく使う「なう」という言葉です)それで株価が下がったり上がったり。アメリカ車のテスラのCEOのTwitterでのつぶやきで株価が操作されたんじゃないかと米証券取引所に訴えられて2日で和解したけど。早っ！(同業者に聞いた話ですが、ステラの車はタブレットひとつでハンドルなんかないんですって)

「？」マークだけでアートとすれば、「To be or not to be, that is the question」(「ハムレット」シェイクスピア)に通じないでしょうか。見た人は自分と何ぞや？という普遍の疑問に直面するわけです。(すごい意識だけど)…それは何ぞや？と激怒する人もおられる方もいるかもしれないですね。ごめんなさい！…というわけで、頭真っ白なわたしはパタパタとキーボードを打っています。風吹く夜中です。

こんな週刊誌向けみたいな(あ、失礼)ちゃらんぼらん随筆を書いていいのかと迷いながらもいい加減なわたしなどの文章を掲載してくださっている坂本図書館様に感謝致します。

(人材不足なんです、世の中)「？」マークだけだと図書館様に怒られそうなので…というのは読者の方との秘密です。秘密にしておいてくださいね。

そういえば先日、高知市の方に坂本嘉治馬さんのことを話してきました。高知の西には偉人が出てますねとおっしゃってくださいました流れで。嬉しいよね。その方は吉田茂は宿毛生まれと程遠いって言うんだけど。そりゃ吉田茂は三才で東京に行ったけども。教育って大事よね。吉田茂の親御さん、すごいよね？わたしも養女に出してほしかったな。まあでも思春期を東京で過ごしたら今のわたしはいなかったかもしれないです。宿毛の自然に助けられ地球の自然に、一つのどんぐりにさえわたしは支えられているのです。どんぐりは雪の多い日のある日に拾いました。

わたしの父は本当は画家になりたかったのです。でも祖父の教えの道を歩きました。長男よりも父に家業を継がしたかったそうです。父は宇和島で整備士の免許を取り家業をし始め、わたしは生まれました。仕事の傍ら油絵や彫刻をしていました。市展に絵を出していたのでご存知の方もいらっしゃるかもしれません。釣りも

趣味で、わたしが中学生の頃、仕事が終わればよく軽トラで船の点検に連れて行ってくださいました。(だから軽トラに乗っている父と娘さんなどを見ると微笑んでしまいます)片島港の岸壁の海に夜光虫がいて水面がきらきら光っていた頃です。美しく石など投げるとさらに光るので何度か投げたものです。うちの周りでも蛍が見られた頃です。よう忘れません。

うちの前に竹藪もありました。土手になっていてよく友達に会いに貝塚まで行ったものです。その友達は今は神奈川県に住んでいて高校から音楽大学付属に入り、今は高知県出身の現代作曲家の奥さんです。今は駅前に通じる道になっていてわたしはよく銀行に自転車で行きます。見上げると子供の頃に見た空と同じ空です。

よく子供の頃、作業場で犬のペロと遊んでいました。白墨でペロの顔を地面に描いて遊んだり車の中で食パンのようなカセットで音楽を聴いたりラジオをつけたり。父は作業場で油絵を描いていました。ナットやペンチなど色々な部品を置いた中に父の彫刻がありました。茶色の力こぶしの手。茶色の木彫りでした。高村光太郎を真似したのかな。整備士の道具がイギリス留学した時にホームステイしたアイルランド出身のメアリーとパットの家にもありました。パットは車の整備関係の仕事をしていて妙に感慨深かったものです。

今のわたしは本当にto be or not to be, that is the questionなのかもしれません。書きながら思い出し力ももらっていますnow。やっていけるよ、皆がそう言ってくれている気がしています。世界中のどこにいても嬉しい言葉を言ってくださる皆に感謝します。

To be or not to be? Yes. I can do that. And you can do whatever you want, can't you?



台風一過

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 2 「おかげさまで、注文の多い笹餅屋です」 桑田ミサオ
- 3 「スマホに負けない子育てのススメ」 諸富祥彦
- 4 「体を整える、わたしの習慣」 白澤卓二
- 5 「えんぎもんフェルト」 緒方伶香
- 6 「どんな災害でもイヌといっしょ」 徳田竜之介
- 7 「表参道のセレブ犬とカバーニャ要塞の野良犬」 若林正恭
- 8 「『日本国語大辞典』をよむ」 今野真二
- 9 「月の炎」 板倉俊之
- 9 「じわじわ気になるほぼ100字の小説」 北野勇作
- 9 「悪役令嬢になりました。」 黒田悠月
- 9 「あなたが母親の手料理を食べられる回数は、残り328回です。」 上野そら
- 9 「信長の原理」 垣根涼介
- 9 「漂砂の塔」 大沢在昌
- 9 「影ぞ恋しき」 葉室麟
- 9 「筒井康隆、自作を語る」 筒井康隆
- 9 「ドアを開けたら」 大崎梢
- 9 「PIT特殊心理捜査班・水無月玲」 五十嵐貴久
- 9 「食べる女 決定版」 筒井ともみ
- 9 「対岸の家事」 朱野帰子
- 9 「TEN」 楡周平
- 9 「僕は金になる」 桂望実
- 9 「絵里奈の消滅」 香納諒一
- 9 「アンドロメダの猫」 朱川湊人

※左側の数字は図書の分類を表しています。
0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「YouTuber教室」 FULMA株式会社
- 「ケイゾウさんの春・夏・秋・冬」 市川宣子
- 「森のとしょかんのひみつ」 小手鞠るい
- 「モンスター・ホテルでハロウィン」 柏葉幸子
- 「きのこレストラン」 新開孝
- 「ため池の外来生物がわかる本 -池の水をぬいた!-」 加藤英明
- 「月の満ちかけをながめよう」 森雅之
- 「キッチンひみつ」 宮原美香
- 「大研究!思いをつなぐ!セロハンテープ」 工藤ケン
- 「入学準備の図鑑」 無藤隆
- 「アチチの小鬼」 岡田淳
- 「知っていますか?SDGs」 日本ユニセフ協会

絵本



- 「あきぞらさんぽ」 えがしらみちこ
- 「プリンちゃんのハロウィン」 なかがわちひろ
- 「めんたべよう!」 小西英子
- 「ねずみくんのうんどうかい」 なかえよしを
- 「おしごとおしごとなににする?」 なとりちづ
- 「すきま地蔵」 室井滋
- 「どんぐりむらのいちねかん」 なかやみわ
- 「森のオーケストラ」 塚本やすし
- 「いっしょにかえろう」 ハイロ・ブイトラゴ
- 「おいも!」 石津ちひろ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp